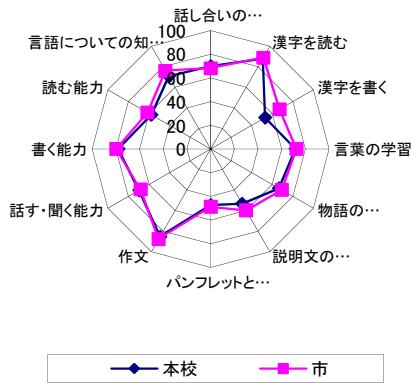


宇都宮市立宝木小学校 第6学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内容を聞き取る	69.8	68.2
	漢字を読む	87.9	89.0
	漢字を書く	53.1	67.0
	言葉の学習	71.7	72.3
	物語の内容を読み取る	66.4	69.2
	説明文の内容を読み取る	53.3	59.8
	パンフレットと話し合いの内容を読み取る	47.1	48.9
	作文	85.2	87.8
観点別	話す・聞く能力	69.8	68.2
	書く能力	77.9	79.5
	読む能力	57.8	61.5
	言語についての知識・理解・技能	70.7	76.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容を聞き取る	・正答率は、市平均を上回った。話し手の意図を考えながら話の内容を聞く問題では、正答率が90%程度であり、話し手の工夫を考えながら話の内容を聞く問題では、正答率が75%程度であった。司会者の役割を理解して、適切な言葉づかいで話す問題では、市の平均を10ポイント近く上回ったものの正答率は、44%程度だった。	・今後も各教科の授業や日常生活において、話し手の意図を意識して聞きながら、自分の意見を持ち話すことができるように支援していく。また、集会などの後に、話の中心を振り返る機会を設ける。
漢字	・正答率は、市平均を下回った。漢字を読むことの正答率は、83～97%と高かった。漢字を書くことの問題では、「往復」「耕す」についてつまずきが見られた。	・漢字スキルを活用し、6年生で学習する漢字だけでなく、既習の漢字の読み書きや熟語などを練習させていく。また、作文や行事などの振り返りで文章を書いたりする際や、ノートの記事などでも、既習漢字を意識して使うように指導していく。
言葉の学習	・「俳句」に関する問題では市平均を上回ったが、「三字の熟語の構成」「敬語の使い方」の問題では、市の平均を下回った。特に、尊敬語の使い方問題では、正答率が50%程度に留まった。	・漢字の復習をする際にも熟語に目を向けさせ、文章の中で適切に使えるようにさせる。 ・敬語の使い方については、日常生活の中で相手や場に応じて使えるように指導していく。
物語の内容を読み取る	・「登場人物の心情を読み取る」の正答率は、市の平均を上回ったが、「情景を思い浮かべながら、登場人物の心情を読み取る」「登場人物の様子を読み取る」の正答率は、市平均を下回った。	・登場人物の様子や心情のわかる語句や文章表現をていねいにおさえて読み進めることを指導していく。読書活動を薦め、物語のおもしろさを味わわせるとともに、文学的な文章に親しむ機会を増やしていく。
説明文の内容を読み取る	・正答率は、市平均を下回った。「文章の内容を的確に読み取ること」の問題では、正答率が50%程度だった。また、「文章の構成を的確に押さえながら読み取ること」の問題でも、正答率が61%に留まった。	・重要な文や言葉に気づかせたり、接続詞などを手がかりに段落ごとの関係を考えさせたりする。また、文脈に即した内容の理解が深められるように指導していく。さらに、文章全体の構成を考え、筆者の意図を考えながら読み取らせるようにする。
パンフレットと話し合いの内容を読み取る	・「資料と話し合いの内容を正しく読み取って考えること」の正答率は市平均を上回ったが、「資料と話し合いの内容を正しく読み取り、適切に文を書き加えること」の正答率は、市平均を下回り、正答率が53%であった。	・構成メモをもとにパンフレットや作文を書く学習を通して、書く際の大切なポイントについて理解を深めさせる。また、話し合いの中のキーワードとなる言葉にも着目させるように配布物を使い、日常生活で話し合いを行っていく。
作文	・正答率は、市平均を下回った。「指定された長さで文章を書くこと」「自分の意見とその理由を区別して書くこと」はよくできていたが、二段落構成で文章を書くことができなかった。	・目的に応じた段落構成を再度理解させるとともに、文章の読み取りや話し合いの際には、自分の意見とその理由を明確にしなが取り組ませるようにする。また、自分の書いた文章を読み返し内容を確認することで、読み手のことを考えた書き方を意識させる。